

平成30年(2018年)上半期東京港港勢(速報値)

(平成30年1月～6月の上半期集計)

● 取扱貨物量

	30年上半期	29年上半期	前年同期比
総数	45,253 千トン	44,540 千トン	101.6%
出貨	14,582 千トン	14,567 千トン	100.1%
入貨	30,672 千トン	29,974 千トン	102.3%
外貿貨物	24,377 千トン	24,494 千トン	99.5%
輸出	6,540 千トン	6,756 千トン	96.8%
輸入	17,837 千トン	17,738 千トン	100.6%
内貿貨物	20,877 千トン	20,046 千トン	104.1%
移出	8,042 千トン	7,810 千トン	103.0%
移入	12,835 千トン	12,235 千トン	104.9%

1 外貿・内貿の全体概況

取扱貨物量は、外内貿全体で、前年同期比101.6%(以下、ことわりのない限り「前年同期比」とする。)と増加した。

・外貿貨物は、輸出が、96.8%、輸入が100.6%と、輸出が減少し、全体では99.5%であった。

・内貿貨物は、移出が103.0%、移入が104.9%と、移出入ともに増加し、全体では104.1%であった。

2 外貿貨物

(1) 輸出

①国別

マレーシア、タイなどとの取扱貨物量が増加したが、中国(香港を含む)、アメリカなどとの取扱貨物量が減少した。

②品種別

産業機械、金属製品等が増加し、再利用資材等が減少した。

(2) 輸入

①国別

台湾、カナダなどとの取扱貨物量が増加したが、中国(香港を含む)、マレーシアなどとの取扱貨物量が減少した。

②品種別

野菜・果物、その他化学工業品等が増加し、家具装備品等が減少した。

3 内貿貨物

(1) 移出

完成自動車、重油等が増加し、廃土砂等が減少した。

(2) 移入

完成自動車、セメント等が増加し、紙・パルプ等が減少した。

● 外貿コンテナ貨物

	30年上半期	29年上半期	前年同期比
貨物量	23,382 千トン	23,663 千トン	98.8%
輸出	6,273 千トン	6,519 千トン	96.2%
輸入	17,108 千トン	17,144 千トン	99.8%
個数	223 万TEU	219 万TEU	101.7%
輸出	103 万TEU	101 万TEU	102.0%
輸入	120 万TEU	118 万TEU	101.6%

* 個数は実入・空の計

外貿コンテナ貨物

(1) 貨物量(トンベース)

輸出が96.2%、輸入が99.8%と、輸出入ともに減少し、全体で98.8%であった。

(2) 個数(TEUベース、実入・空の計)

輸出が102.0%、輸入が101.6%と、輸出入ともに増加し、全体で101.7%であった。

● 入港船舶

	30年上半期	29年上半期	前年同期比
入港船舶数	12,046 隻	11,696 隻	103.0%
同 総トン数	89,063 千総トン	84,952 千総トン	104.8%

入港船舶

入港船舶数は、103.0%の12,046隻であった。総トン数は、104.8%の89,063千総トンであった。